

令和4年4月23日

futbol y vida



Poco a poco ...
boco y boco ...

2022 インターハイ予選キックオフ!!
鍛錬期&武者修行の成果を出す!!

明後日、待ちに待ったインターハイ予選がスタート!! VS 科学技術多摩

“勝負”の懸かった令和四年、真剣に“都大会出場”を狙います!!

いよいよ4月24日(日)から令和四年度の初公式戦であるインターハイ予選初戦 VS 科学技術多摩が行われます。昨年12月の新人戦以来の公式戦ではありますが、昭和第一学園戦での悔しい敗戦をバネにこの冬の鍛錬期は新型コロナの影響でTRMこそ思う存分できなかった時期もありましたがトレーニングではしっかりと追い込み、大会前のおよそ一ヶ月間は春の武者修行としてTRMを15ゲーム行い、ゲーム感やゲーム体力を取り戻してきました。明後日からスタートするインターハイ予選に向けていい準備ができたので自信を持って臨みたいと思います。

さて、二年前に入学した49期生からサッカー部は今の新指導体制となり、今年で三年目の勝負の懸かった年を迎えました。現在は、キャプテン藤原を始め三年生を中心にいい雰囲気を保ちながら公式戦に向けてチームは仕上がってきていると思います。まだまだ、声の部分では物足りなさを感じていますが、子どもたちの自覚を促しながらチーム作りをしていこうと考えています。もちろん、何事も新しい種を蒔いてそれが根を下ろし、そして根を張るまでは時間はかかるものです。勝負の世界は直ぐに結果が出るほど安易なものではありませんが、十年以上も都大会から遠ざかっているチームとしては、今大会こそ「目標」に向かって努力を積み重ねきた成果を、是非「結果」として導きたいと思っています。



＜悔しい思いをした分強くなり遅くなる!!＞

インターハイ予選は、「敵は己の心にあり!!」で気を引き締めて挑む!!

春の天気は目まぐるしく変化し、「春に三日の晴れなし」とも言われるようにとても不安定です。今週は特にそんな天気が続いています。また、気温の寒暖差が激しく体調管理が難しく+新学期で環境の変化もありとても疲労が溜まりやすいので、特に大会前はいいコンディションをキープできるように留意したいものです。

さて、サッカーの大会では、春の天気のように公式戦で「ジャイアント・キリング(下馬評を覆す)」を起こすゲームが実は多いのです。今回のインターハイ予選の対戦相手は、Tリーグ所属チームや都大会常連校はいませんが、地区の代表決定戦まで勝ち進むあと一步というチームはいます。つまり、どのチームも都大会出場のチャンスは大いにあります。初戦の科学技術多摩高校の情報は全くありませんが、まずは、目の前の対戦相手に集中してここまで積み上げてきた自分たちのサッカーを全てピッチで出し切り、都大会への道を実に進んで行きたいと思っています。

「敵は己の心にあり!!」 気持ちを引き締めてインターハイ予選に挑みたいと思います!!

今年度も東京FIDとの交流で“心のバリアフリー”を学び、実践する!!

先日、清瀬内山グランド（人工芝を貼り換えたばかりでとても綺麗でした）で東京FID（東京都知的障がい者チーム）と今年度初のTRMを行いました。東京FIDは、中学生から社会人まで年齢層の幅広い選手が所属し東京都代表チームとして土日・祝日をメインに活動しています。今年の6月にフランスで開催予定（世界情勢を鑑みて中止）であった『もうひとつの世界カップ』の日本代表チームとして6名が選出されるほどの国内でも伝統と実力を兼ね備えたチームです。また、東京FIDのメンバーは成人されている方が多く、スキルはもちろんのこと、スピードやパワーがありフィジカルコンタクトも強く、片倉高校の生徒にとってもいいトレーニングとなるとともに、障がいの有無を超えた交流も貴重な経験となります。



<ゲームでもフィジカルコンタクトの場面が多く見られる>

東京FIDチームとは、知人がスタッフで関わっていることもあり、前任校時代から年に二、三回交流をしてきました。新型コロナ感染拡大の影響もあり、ようやく昨年度から片倉高校でも交流を再開し、その様子が東京都知的障がい者連盟のホームページにも紹介されました。今後もFootballを通じて“心のバリアフリー”を肌で学ぶとともに、東京FIDチームと積極的に交流を続け障がい者スポーツの普及活動のお手伝いに微力ながら協力したいと考えています。



<東京FIDとfootballを通して子どもたちは多くのことを学んでいる>

<After the Game>

長いこと待ち望んでいたインターハイ予選がいよいよスタートします。昨年末に新人戦で敗れてからチームはこの大会に向けて気持ちを切り替えて冬の厳しいトレーニングを三年生がチームを引っ張り、チーム一丸となって乗り越えてきました。コロナの影響も受けましたが、以前のことを考えれば十分に活動はできたと思います。チームは久しく都大会という舞台から遠ざかっていますが、そろそろ「結果」が欲しいですね。まずは、初戦の**科学技術多摩戦**に全力で挑みたいと思います。今大会も無観客試合となりましたが、応援宜しくお願い致します。

また、51期生は正式に覚悟を決めた**12名**が入部届を提出しました。今のところ例年よりも人数は少ないのですが、既にインターハイ予選のメンバーに絡んでくるものもいて期待は大です。新入生は年々質が上がってきているように感じています。ここからの彼らの成長が楽しみです。